



**1 年 3 組による美濃市、郡上市でのフィールドワークの報告をします。**

**郡上市、美濃市を訪問、観光業の現状について調べました。**

**日時：8月3日：郡上 8月10日：美濃市**

**訪問先：郡上市内 美濃市内**

**内容：各市役所を訪れ、情報を収集&町散策**

**参加者：石原大地 梅田蒼汰 小林大樹 増田悠希 日比野夏凜 桜井園子 遠藤心和中子**

## 郡上市と美濃市の観光～実際に訪れて分かったこと～

今、郡上では様々な外国人観光客向けの取り組みがなされている。例えば、PR 動画の作成や市内の Wi-Fi の整備などである。実際に私たちの訪れたサンプル工房では、店内の多言語化（右）がされており、外国人観光客への対応がされていることがうかがえた。



また、美濃市はあかりアート展への海外からの応募を受けつけたり、市の HP や、無料配布のパンフレットを多言語化したりなど、市のグローバル化に勤しんでいた。話を聞いた後うだつの町並みに繰り出すと、電柱がないことに気付いた。伝統的な家屋の立ち並ぶその風景を乱さないようにする配慮だろう。

## 私たちの考えるこれからの観光とは～話をもとに考えたこと～

このように、二つの市は外国人観光客のおもてなしをするために様々なことに取り組んでいる。しかしながら、いただいた資料によると、観光客数は減少傾向にあるというのが現状だった。その理由としては、一つ一つの市が提供できるコンテンツの量には限界があり、訪れてもらったとしても、手持ちぶさたになってしまう、またはそう外国人に判断されてしまうということがあるだろう。

そこで私たちは、この問題の一つの解決策として、郡上市、美濃市を繋げた「Center Of Japan 長良川鉄道の旅」を提案する。大都市ではできない貴重な体験をコンセプトに、一日飽きが来ないようにつくられている。

このフィールドワークを通して、郡上市や美濃市などの地域の町は、大都市では体験できない、まかないきれないコアなニーズに応えていくことが大切なのではないかとの考えにいたった。

## 1年3組によるせっきーファームフィールドワークの報告をします

### せっきーファームで富有柿のマーケティングについて学んだこと

日時:2018年8月4日

訪問先:せっきーファーム(瑞穂市森)

内容:富有柿の販売方法について

参加者:山越琉偉 須田陸太 杉本大和 森友磨 加藤万弥 後藤望来 藤井萌菜

#### 「富有柿とその加工方法」

富有柿は、岐阜県瑞穂市発祥の柿で「甘柿の王様」と呼ばれています。せっきーファームでは、富有柿を様々な形で売り出しています。その中でも特に反響が大きかったのは「ハロウィン柿」というものです。ハロウィン柿とは、柿にシールを貼って、ジャックオランタンのように装飾したものです。テレビでも放送され、外国人や子供たちからの人気が高かったです。また、今まで困難だった柿の加工に成功しました。例えば、ロールケーキやグラッセ、柿みつ、カップケーキなどがあります。これらも反響が大きく、人気があったそうです。

#### 「柿の販売方法」

主に柿を道の駅やスーパーマーケットで販売しています。また、柿の海外進出を図るために、ヨーロッパやアジアの国々に輸出して売り出すこともしています。

#### 「感想 考察」

岐阜県は、あまり特徴のない県だと思っていたけれど、富有柿のように全国的に有名な特産品があることを知りました。しかし、適切なマーケティングをしないと、富有柿の良さは広められないことが分かりました。だからこそ、ハロウィンガキのような適切なマーケティングをすることが大切だとわかりました。また、富有柿を知ってもらうために、ポスターを作ることが一つの手段だと思いました。

## 1年3組による郡上フィールドワークの報告をします

◇郡上市へ行き、市の観光情報や外国へのPRの仕方などを学びました！

日時：2018年8月3日（木） 9：00～15：00

訪問先：郡上市役所 サンプル工房 郡上八幡城

内容：市の観光情報や外国へのPRについて

参加者：加藤廉 北野倫玖 服部達也 森絢香 金本心友 栗山愛望

◇訪ねてもらって、楽しんでもらって、住んでもらう！



今回私たちは、郡上市役所で郡上市の観光の現状について教えていただきました。郡上市は岐阜県の中でも観光客が多い市の一つです。「訪ねてもらって、楽しんでもらって、住んでもらう」をテーマにして観光業に力を入れています。最近では、インバウンド増加のためにタイに進出した郡上企業にPRを依頼しました。それによって、実際観光客数を増加させることができました。郡上の日本らしさを、より多くの人に知ってもらうために、現在は外国人向けのおもてなしポスターやPR動画を様々な言語で、空港や駅に設置しています。



### ◇私たちの感想 ～岐阜県をインバウンドにとって身近に～

私たち4班は、SGH 活動を通してインバウンドについての考えを深め、実際にツアーを企画することで同時に郡上についてよく知ることができました。フィールドワークで自分たちの足で、郡上について調べることで知ることができた郡上の良さを次は、私たちが岐阜県を多くの人に魅力的だと思ってもらえるように広めていきたいです。

## 1年3組による 美濃町フィールドワークの報告をします

### ◇ あかりアート館、美濃市観光協会を訪問、美濃観光の現状について学びました！

日時： 2018年7月21日(金) 9:00~12:00

訪問先： あかりアート館 美濃市観光協会

内容： 現在の美濃市の観光の状況について

参加者： 則竹 晃太郎 外村 泰己

### ◇ 美濃市の現状

インバウンドの関心が高く年々インバウンドが増加しているが、うだつの上がる街など、観光先は一部に限られてしまっている

### ◇ 美濃市の取り組み

- ・Facebook などの SNS でイベント情報などを細かく伝えている
- ・海外の旅行会社に直接出向き広告を出してもらう
- ・美濃市の商店経営者を集めて月に一度英会話教室を開いている
- ・「日本独自の文化」を楽しみにしている人のために着物のレンタルなどを行っている
- ・和紙作りの体験で、印象に残るようにしている
- ・観光協会会長 自らが観光客に会いに行っている

### ◇ 感想・考察

美濃市はすでに多くの取り組みを行っており、インバウンドは年々増加しています。その観光客に美濃市内のより多くの観光スポットに周ってもらうため、私たちは「探索ツアー」を考案しました。このツアーは、美濃市の町散策を中心として、「美濃和紙の里会館」でのオリジナル和紙作りや鶺鴒飼など、体験・体感型のものも多く組み込んだ観光ツアーです。またこのツアーは無駄な時間をなくし、効率よく見てまわることができます。またこのツアーは SNS とポスターを利用して紹介することにしました。すでにある美濃市の観光サイトに掲載していただき、そこから SNS での拡散を狙います。ポスターは空港に設置して飛び入り参加も可能にしたいと考えています。

これからの課題としてはアジア、特に中国人への情報公開方法について考えていくことです。翻訳はもちろん、ネット規制の内容をよく理解し、他国と変わらない情報を届けられるようにしていきたいです。

## 1年3組による 子宝温泉 フィールドワークの報告をします

子宝温泉への訪問

**日時:8月2日**

**訪問先:子宝温泉(郡上市美並町)**

**内容:子宝温泉の課題**

**参加者:多田大晟**

### 子宝温泉の課題

岐阜県には、日本の誇れる温泉と一体となった全国に2か所しかない珍しい駅があります。その駅が子宝の湯です。私は夏休みに子宝の湯を訪問し、より多くのお客さんを呼び込むための課題を聞いてきました。

その課題は、電車が1時間に1、2本しかないため温泉と駅が一体となっていることに気づいてもらえず、せっかくの魅力が伝わらないことです。また、タトゥーの入っているお客さんは温泉に入ることができないため、外国人のお客さんをより多く呼び込むためには、そこも問題となっていることを聞いてきました。

### 課題解決

私たちは今回その課題に対する解決策を考えました。

電車に気づかないことについては、「長良川鉄道による来訪客は、通常600円を、割引で200円になる」という制度を多くのお客さんに知ってもらうことで、長良川鉄道の存在を知ってもらおうと考えます。また、タトゥーの入っていない外国人の方に来てもらえば、十分な収益が得られ、温泉の魅力が伝わると思います。だから、集客効果が期待できる宣伝方法が重要になります。ポスターを外国人観光客のほとんどが利用する空港に設置することや、外国人の視点で岐阜の魅力が伝わるように、外国人にポスターを作ってもらうことが効果的だと考えます。また、タトゥーの入っている方への配慮として、四季を眺めながらの足湯の設置も考えました。

岐阜の豊かな自然を車窓から楽しんでもらい、疲れた体を日本の魅力、温泉でいやしてもらおう。そんなことができれば、きっと外国人の方が沢山来てもらえると思います。今後は、「四季を楽しむ長良川鉄道」のキャッチフレーズのもと、鉄道利用者を増やし、その一環として、「温泉と一体化した駅」もアピールしていきたいと考えています。